

## 第5学年2組 国語科学習指導案

1 単元 すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう「大造じいさんとガン」 (椋 鳩十作)

### 2 本単元の指導の立場

#### (1) 児童の実態

本学級の子どもたちは、読書を行い、読書ノートに感想を書くことができているが、読む本のジャンルに偏りがあったり、どの本においても「楽しかった。」「面白かった」といった感想が多かったりという課題が見られる。第5学年「名前つけてよ」の学習では、心情が表れている表現に着目し、登場人物どうしの関わりがどのような出来事を通して、どのように変わって行ったのかを読み、感想を伝え合う学習をしていっている。そこで、読む文章が多様になり、読み手の視点だけでなく、書き手の視点からも読書を行うようになるこの期に本単元を取り上げる。そして、人物の「心情」「動き」、「情景」が効果的にえがかれているすぐれた表現に着目して読み、作品の魅力を伝え合うことができるようにしたい。このことは、豊かな感性や情操を育む「読書センター」としてだけでなく、「学習・情報センター」として学校図書館を活用していく子どもを育てるとともに、自分の考えを主体的に表現する子どもを育成する上からも意義深い。

#### (2) 教材の価値

本単元は、すぐれた表現に着目し作品を読み、すぐれた表現とその表現を選んだ理由をポップに書きまとめ紹介する事を通して、人物の「心情」「動き」、「情景」が効果的にえがかれているすぐれた表現に着目して読み、作品の魅力を伝え合うことができるようにすることをねらいとしている。本教材文は、大造じいさんがガンの頭領である残雪との関わりによって、価値観や生き方を見つめ直す作品である。また、色彩語や比喩などの表現技法が用いられた情景描写が特徴的であり、情景描写を通して登場人物の心情が読み取れることをとらえさせたり、その表現の素晴らしさに気づかせたりするのに適した教材である。本単元は、6年「やまなし」において、題名、構成、表現などから作者の意図を推測し、作品に込められた筆者の思いについて自分の考えをまとめる学習へと発展していく。

#### (3) 指導の構え

自分の選んだ作品から、すぐれた表現を読み取り、その表現とその表現を選んだ理由をポップに書きまとめ紹介する活動は、人物の「心情」「動き」、「情景」が効果的にえがかれているすぐれた表現に着目して読み、作品の魅力を伝え合うことができるようになるために適した活動であると考えられる。

本単元の指導にあたっては、まず、「つかむ」段階で、教師の作成した椋鳩十作品のポップを見て、自分も作品のすぐれた表現を読み取り、ポップを作り、紹介し合う学習をしたいという見通しをもてるようにする。次に、「つくる」段階で、「大造じいさんとガン」を読み、すぐれた表現とその理由をリハーサルポップに書きためていくことができるようにする。そして、「みがく」段階で、書きためてきたリハーサルポップをもとに、「大造じいさんとガン」のポップを完成させ、紹介し合う活動を行なうことができるようにする。最後に「生かす」段階で、この単元の初めに選書し読み続けてきた作品のポップを作り、紹介し合う活動を行うことができるようにする。

特に、単元を通して選書して1冊の本を読み続けたり、「生かす」段階で、読み続けた本のポップを作成し、学級や学校図書館等で紹介し合う活動をしたりして、学校図書館の活用を図る。

### 3 目標

- (1) 教師が提示した本のポップに興味をもち、自分の選んだ本のすぐれた表現をポップに書き、作品の魅力を伝え合おうとする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 残雪の行動に対する大造じいさんの言葉や行動、情景描写から、大造じいさんの残雪を捕りたい心情の高まりや、残雪に対する心情の変化を読み取ることができる表現の素晴らしさを理解して、自分の選んだ本のすぐれた表現を読み取ることができる。 【読むこと】
- (3) 「東の空が真っ赤に燃えて」などの情景描写などを通して、登場人物の心情や心情の高まりが表現されることがあることを理解することができる。 【言語についての知識・理解】

#### 4 単元計画（全 10 時間）

段階	配時	学習活動と内容	教師の支援
つかむ	①	1 教師の作成した椋鳩十作品のポップのモデルを紹介し、学習の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">すぐれた表現に着目し、ポップを作って、作品のみりよくを伝え合おう。</div>	○ ポップのモデルを提示し、学習の見通しをもつことができるようにする。 ○ <b>単元を通して読み続けていく本を、味見読書を行うことで決定できるようにする。</b>
つくる	① ④	2 本文を読み、すぐれた表現とその理由をリハーサルポップに繰り返し、まとめる。 ① (1) 前書きから作品の設定を読み取り、全文を通読し、初発の感想（自分が読み取ったすぐれた表現、その理由、疑問）をまとめる。 ・ 大造じいさんが、残雪をとらえるために、色々な方法をあきらめずに続けたところがすごいなと思った。 ④ (2) 大造じいさんの言葉や行動、情景描写から、大造じいさんの心情の変化を読み取り、読み取ったすぐれた表現をリハーサルポップにまとめる。 ○ 1 場面の大造じいさんの心情を読み取り、読み取ったすぐれた表現をリハーサルポップにまとめる。 ・ 「ううむ。」という短い言葉で、大造じいさんの残雪をすごいなと思いつつも、まだまだ余裕があるというのが伝わるのがすごいと思った。【心情を表す表現】 ○ 2 場面から 4 場面の大造じいさんの心情と心情の変化を読み取り、すぐれた表現をリハーサルポップにまとめる。 ・ 「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」という表現で、大造じいさんの絶対に残雪を捕まえるんだという心情が伝わるのですすごいと思った。 <b>【情景を表す表現】</b>	○ 毎時間、同じ形式のリハーサルポップを配布し、みがく段階でポップを書く時に生かせるようにする。 ○ どのような表現に着目すればいいのか理解しやすいように、人物の「心情」「動き」「情景」が効果的にえがかれている表現をすぐれた表現と定義する。 ○ すぐれた表現を読み取る力を生かすために、並行読書が続いている作品を振り返り、すぐれた表現だと考えた表現には、付箋を貼り続けるようにさせる。 ○ 焦点化してすぐれた表現を、考えられるように、叙述を短冊に書き、板書する。
みがく	本時①	3 リハーサルポップを活用し、すぐれた表現に着目して、ポップを作成し、「大造じいさんとガン」の魅力を伝え合う。 (1) 書き溜めてきたリハーサルポップを活用し、ポップを作成する。 ・ この作品の中で、最もすぐれている表現は、～だと思ふな。作品を読み終えると、この表現のよさがよりわかったぞ。	○ 書きためてきた4枚のリハーサルポップを活用するように助言する。
	①	(2) 作成したポップを仕上げ、作品の魅力を伝え合う。	○ 見た目だけでなく、書いている内容に着目するよう助言する。
生かす	① ①	4 自分の選んだ本について、ポップを作成し、作成したポップを紹介し合い、単元の学習を振り返りまとめる。 ① (1) 自分の選んだ本について、ポップを作成する。 ・ 「大造じいさんとガン」のように情景によって、心情も表されている表現があったな。 ① (2) 作成したポップを展示し、友だちのポップを見て、よさを伝え合う。	○ 今までに貼りためた付箋をもとに、ポップを作成できるように助言する。 ○ 着目したすぐれた表現と、選択した理由に視点を当てて、友だちのつくったポップのよさに気付くことができるようにする。

## 5 本時の主眼

- 書きためてきたリハーサルポップを活用し、人物の「心情」「動き」「情景」が最も効果的にえがかれているすぐれた表現を選択し、選択した理由をポップにまとめることができる。

## 6 準備 リハーサルポップ 本番のポップの用紙

## 7 本時の展開（45分）

階	学習活動と内容	教師の支援						
つかむ	<p>1 今までの学習を想起し、めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">すぐれた表現とその理由をポップに書こう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時までに書きためてきたリハーサルポップを振り返り、本時では本番のポップを作成するという見通しを持つことができるようにする。</li> </ul>						
つ	<p>2 優れていると考えた表現とその理由をポップに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ポップの書き方を理解し、最も優れていると思う表現を選択し、その表現と選択した理由をポップに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 優れている表現を選択することに悩んでいる児童には、リハーサルポップの中から選択するように助言する。</li> </ul>						
く	<p style="text-align: center;"><b>【ポップの書き方】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">題</td> <td style="width: 50%;">作者</td> </tr> <tr> <td colspan="2">すぐれている表現</td> </tr> <tr> <td colspan="2">選んだ理由</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">最も効果的にえがかれている表現</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">最も効果的だと考えた理由</div> </div>	題	作者	すぐれている表現		選んだ理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 好みではなく、作品中で最も効果的にえがかれていたり、作品の魅力を引き出したりしていると感じる表現を選択するように助言する。</li> </ul>
題	作者							
すぐれている表現								
選んだ理由								
る	<p>3 2つのモデルを比較し、優れた表現を選択した理由のよりよい書き方を理解し、自分のポップづくりに生かす。</p> <p>(1) 同じ表現で、選んだ理由の違う2枚のポップを比較し、どのようなことを書くと選択した表現のよさがより伝わるのか話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2つのモデルを比較することを通して、①選択した表現は、どのような「心情」「動き」「情景」が表現されているのか、②どうして人物はそのような「心情」「動き」なのかなどを理由に書くよさを理解することができるようにする。</li> </ul>						
み	<p><b>【モデル①】</b> 空の様子だけでなく、大造じいさんの心情も伝わってくるいい表現です。読んでみてください。</p>							
が	<p><b>【モデル②】</b> 残雪が来るようになり、1羽もガンを取れなくなった大造じいさん。残雪を捕まえるために、様々な作戦を立てますが、連続で残雪にしてやられてしまいます。そして、今年こそは！と強い気持ちで、考えておいたとっておきの作戦を試す朝。この表現は、その時の情景です。その時の空の様子と、大造じいさんの燃えるような心情が同時に伝わってきます。はたして、大造じいさんのとっておきの作戦は成功するのでしょうか！？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>2つのモデルを比較することを通して、ポップを読んでもらう相手や、作品のみりよくを伝えるという目的を意識してポップを作ることができるようにする。</b></li> </ul>						
く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【モデル②】の方が、大造じいさんのどのような心情が伝わるのかが分かる。</li> <li>・【モデル②】のように、少しあらすじを書くと、心情の高まりも伝わるな。</li> </ul> <p>(2) 比較して話し合ったことを参考にして、ポップの選んだ理由を付加・修正する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の書いた理由と【モデル②】を比較させることを通して、選択した理由をより詳しく書くことができるようにする。</li> </ul> <p>※優れていると考えた表現と、その理由をポップに書きまとめることができる。</p>						
生	<p>4 本時の学習を振り返り、まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">人物の「心情」「動き」「情景」が最も効果的にえがかれているすぐれた表現と、その理由を書くことで作品のみりよくを伝えることができる。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習を振り返り、作品の魅力を伝えるために有効な方法を理解することができるようにする。</li> </ul>						
す								